

患者さんと一緒に、  
その人らしいナチュラルな美しさを作るのが私の仕事。  
美しくなりたい気持ちに、  
年齢も性別も関係ありません。



盛虹明 医学博士  
盛・美容外科院長

南京医科大学卒業後、日本に留学。横浜市立大学医学部形成外科で勤務するなど、日本での16年間にわたる豊富な治療経験を活かし、2004年、上海に盛・美容外科を開業した。

16年間お世話になった日本と日本の方に上海で恩返しをしたいという思いのもと、安全、満足、納得の医療サービスを提供している盛・美容外科。口コミで評判が広まり、今では日本から通ってくる患者さんもいるという。評判の理由は、技術もさることながら、患者さんの話をよく聞き、それぞれの悩みを受け止める盛先生の人柄によるところが大きいようだ。その盛先生に「変身・改造」をテーマに話を伺ってきた。

患者さんの傾向と、  
盛先生の考える美容外科

美容整形は20代、30代以降はアンチエイジングのために来院される方が多いです。でも、ほとんどの方は手術が必要ありません。私は髪型やファッションなど、トータルでその人の美を考えれば良いと考えているからです。時代の流れもありますが、軽い気持ちで受ける方がいますが、施術を受けても洋服のように気軽に着替えることはできません。一人ひとりが真剣な気持ちで望まなくてはいいけないのです。自分がどうなりたいたいか、まず考えないといいけません。自分の良いところを引き出し、コンプレックスを改善するのが美容外科の仕事だと考えるからです。

さい。そうすると先生は、専門的な意見と美のセンスをもとに、あなたに合った診断をします。私は表面的なものだけではなく、カウンセリング中の会話の中から得た情報をもとに、患者さんのバックグラウンドをトータルで考慮し、患者さんに合う美を提案します。だから、必ず納得の上で手術を受けていただきたい。患者さんの意見ばかりを聞いて、無理やり作る事はできません。私は、美容整形は、カウンセリングや施術で心を治すところだとも考えているからです。一度手術したらもとは戻りません。ファッションやヘア、化粧品など、女性を美しく見せるのはたくさんさんの面が必要です。悩みを解決する、その手段のひとつが美容整形。私は精神的なフォローアップも大切だと考えているので、心療内科の面を持ち合わせていると思っています。

アンチエイジングは  
病気と違って

老化現象は誰にでも必ずやってくるものです。そのときは素直に受け入れて、早めにケアすることをおすすめします。美容外科は数居が高いとか、怖いというイメージがあるけど、美容外科に頼るも

のではありません。美容形成は余裕がある人がやればいい。ただし、アンチエイジングは誰もが必要だと考えます。審美的な問題だけではなく、例えばまぶたのたるみを取るだけで、遮られていた視界が広がり、頭痛や肩こりが解消されるなど、滞った機能が回復に向かうのです。日本はまだ保守的な考え方をされる方が多いですが、これからの時代は考え方が変わってきます。アンチエイジングは病気だと思ってください。患者さんは医者を見る目を養い、自分が何を求めるかの意思表示をしてほしいと思います。

ある調査で、フェイスリフトをした人としていない人では、最長で9年長生きするというデータがあります。外見的にも内面的にも自分に自身を持った人のホルモンのコントロールが、免疫を高め、病気になるにくい体を作るからなのです。そうすると、自然と気持ちも優しくなっていくます。私はアンチエイジングは積極的に行うべきだと考えます。美しくなりたい、よりよい自分でありたいという気持ちに年齢も性別も関係ありません。私は、ナチュラルな美が理想です。あなたに本当に必要か、プラスになるかを一緒に考えてみませんか。

詳しくは本誌リスティング●ページをご覧ください。